

令和5年度第2回太良町地域公共交通会議及び太良町地域公共交通活性化協議会
会議議事録

会議の名称	令和5年度第2回太良町地域公共交通合同会議
開催日時	令和5年11月28日(火) 14:00~15:40
開催場所	太良町役場 3階 大会議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 令和5年度の運行状況等について 4 協議事項 太良町地域公共交通計画(素案)について(全会一致で承認) 5 その他 6 閉会
出席委員	地域公共交通会議委員21名中13名参加：うち委任状代理1名 地域公共交通活性化協議会委員20名中14名参加：うち委任状代理1名
事務局	太良町役場 企画商工課 商工係
<p>1 開会</p> <p>2 会長のあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事録署名人を指名 <p>3 報告事項 令和5年度の運行状況等について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明 <p>4 協議事項 太良町地域公共交通計画(素案)について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に沿って説明 <p>(委員)</p> <p>アンケートは町内2,000世帯を無作為に抽出し行っているが、全体から抽出するよりコミュニティバスを利用する可能性が高い世帯にしぼって抽出すればより具体的な意見が出るのではないかと。ざっくりばらんにするより警察の交通課辺りに相談し情報を教えてもらっては。</p> <p>(事務局)</p> <p>もっともな意見です。その話は平成29年度に出ていたが、警察から教えてもらうのは難しいだろう。今回は世帯の高齢の方から2名に回答してもらっている。町内から無作為に抽出したが、より高齢の方に回答いただけているのではないかと。</p> <p>観光や通勤通学等も考慮したいので、高齢者だけに絞ってしまうと若い方の意見が聞けなくなるのでこのような抽出方法にした。</p>	

(委員)

各地区の区長が住民台帳を持っているので聞いてもらえれば情報を提供できる。その中で抽出してみてもいい。

(議長)

このアンケートのほかに調査をしてもらうことはできるのか。

(委員)

計画のほかに令和6年度以降実施計画を作るのでは。

(事務局)

作ります。

(委員)

その段階でアンケートをしても遅くないと思う。

(事務局)

計画 P68 に計画状況をどう評価するかを記載している。

住民意向把握とあるが、全町的なのは令和10年度に行く予定だが、区長・民生委員には年1回聞く予定。区全体の意見を書いてもらい住民の意見を把握していきたい。

それを実施計画に反映したい。

(議長)

令和6年度の実施計画はいつする？

(事務局)

すぐ作れるのもあるが、運行ルートを検討する際まだ調べてないところもある。情報を集めてから実施計画を作る。可能な限り早く作る。

(委員)

祐徳バスと長崎県営バスとの引継ぎを地域公共交通計画に入れてもらえて嬉しい。

今は田古里から県営バス停まで歩いて乗換されているので気の毒。

(委員)

他の市町と太良町は地形的に違う。平野部、山間部を考慮してコミュニティバスを運行されているケースがあったらお手本にしてほしい。

(委員)

ライドシェアについては今後計画に入れる考えはあるか。どう考えてる？

(委員)

国のデジタル行政改革会議で導入に向けた検討が始まっている。利用者の安全性や利用者の保護が導入に向けたポイントになる。そこを踏まえて制度が作られている途中なので具体的に決まったら運輸支局から情報提供する。

(委員)

導入にあたってはこの会議が重要になるとのこと。

(委員)

太良の地形を考慮していただいて今後計画を作ってほしい。牛尾呂は30mおいたら長崎県営バス停があるのでそれを利用して諫早に行っているのだろう。

(委員)

この会議はコミュニティバスを維持していただくだけの会議なのか、町民の足の確保を考えているの

か。もしだめなら変更を考えるのか。

(委員)

福祉事業だから継続するだろう。

(委員)

福祉事業として他の方法を考えないのか。

4千万円も赤字があるのにコミュニティバスを継続するのは無駄では。70～80代の80%以上は免許を持っているので誰も乗らないのでは。お客さんがいないなら無駄では。もっといい方法があるのでは。

タクシー券も配っても全部使われないのに、そういう人がコミュニティバスには乗らないと思う。太良町は乗る人がいないからタクシーも2台しか動かしていない。現実を見てほしい。

(委員)

全部使わないからタクシー券を減らすと短絡的に考えられると困る。馬場タクシーも困る。

コミュニティバスは福祉事業だから続けていく。100円で乗れるので経済的に助かっている人も多い。

原因を調べてタクシー券を使ってもらおうよう考えてほしい。

(議長)

運行を開始して2年半たち、どうやったら乗ってくれるか検討しながらやっている最中。将来的には別の方法を考えるかもしれない。コミュニティバスは始まったばかりなので改善点がないか話し合っていく会議の場にしたい。

(委員)

いかに増やすか考える前にコミュニティバスを本当に必要としている人はいるのか。

アンケートではコミュニティバスに乗るかどうかわからないと回答している人が多かった。本当に利用したい人は多いのか。

祐徳バスが撤退するからコミュニティバスを走らせたのでは。福祉事業だから赤字が4千万円あってもいいというわけではない。

(事務局)

コミュニティバスを始めた経緯をご説明する。祐徳バスが走らなくなったのもあるが、しおさい館に行く人たちをのせる福祉巡回バスがなくなったからそれを柱にして走らせるようになった。買い物や病院に行く人を柱にしていなかった。しおさい館に行く人を乗せていくという目標は達成されている。

(委員)

しおさい館に委託してお客さんを乗せる形にすればいいのでは。

(事務局)

しおさい館のついでに買い物や病院に行くという使い方が増えてきている。数はいっぺんには増えない。今後このような使い方をする利用者を増やしていきたい。免許を持っていても運転は危ないと感じている方などに乗ってもらえるよう来年度以降力を入れていきたい。

(委員)

それはきれいごととしか思えない。太良町は免許証がないと困る。高齢者に免許証を返してコミュニティバスに乗ってくださいということになる。

(委員)

今回はあくまで素案を検討する会議。そういうことは実施計画の時に言えばいい。
大浦地区がコミュニティバスにあまり乗ってないのは山間部が多いから。タクシーとバスを組み合わせ
わせて計画してもらいたい。バスの便数を増やせば利用者数も増えるのでは。
どの市町もコミュニティバスは赤字。赤字路線を減らすようにしてほしい。

(議長)

この会議はコミュニティバスを存続させるものではなく、どう改善していくかを話し合っていくもの。
将来的にはコミュニティバスをなくすかもしれないが、いま馬場委員がおっしゃっていることは
ここで言っても仕方ないこと。

(委員)

他の自治体で利便増進計画を作っているところがあるが、来年4月に改善予定の運転手さんの労働
時間に引っかかって再検討しなければならないところがある。今回の計画は運転手さんの労働時間
等を考えて作られたのか。

(事務局)

労働時間については検討していない。

(坂井委員)

来年実施計画を作る中で協議していくのか。

(事務局)

はい。

(議長)

その辺はぜひ協議して。

(委員)

タクシー券は65歳以上が対象。高校生にもタクシー券を使わせることはできないか。自家用車で
送迎してもらっている高校生がタクシーを利用すればタクシー利用者が増えると思う。
コミュニティバスに乗ったら卵がもらえるなど、お店に対して付加価値を付けてみたら普段車に乗
っている人たちもバスを利用するかもしれない。コミュニティバスを利用したらお得になるなどの
工夫をしてみてもいい。

(事務局)

高校生には通学距離に応じて補助金を交付している。

コミュニティバスを利用したらお得になるといった試みは今後検討する。

(委員)

前々回の会議で90歳以上にはタクシー券を無条件で交付すると提案したら検討すると回答があっ
た。まだ実施して内容だが検討だけだったのか。90歳以上の方には無条件にわたしてほしい。

(議長)

検討させてください。

(委員)

やる方向で、やりますと行ってください。いいことだと思う。

(委員)

今の決まりを変えればいい。

(議長)

それを検討する。

- ・協議事項について賛成者の挙手を求める
全会一致で承認

5 その他

(事務局)

今後の会議スケジュールを説明。

(委員)

報告事項も資料を作ってもらえればありがたい。

(事務局)

後日お渡しします。

6 閉会

以上のとおり、議事内容に相違ありません。